

放課後等デイサービス及び放課後児童クラブ施設の、設計実績に関する アンケート調査 ご協力をお願い

1. 研究の目的・意義

本研究は、放課後等デイサービスのほか、障害児や発達に特性のある子どもにとっての放課後施設空間のあり方に着目し、空間構成と児童の活動および支援の実態との関係を明らかにすることを目的としています。近年、放課後等デイサービスは利用者数・事業所数ともに急増しており、障害特性や支援ニーズの多様化に対応した施設環境の整備が求められています。しかし、施設計画に関する具体的な設計指針や基準は十分に整理されておらず、多くの事業所では建築士や運営者の経験に基づき空間計画が行われているのが現状です。

本調査では、放課後等デイサービスおよび放課後児童クラブ（学童保育）施設の設計経験を有する建築士の方々を対象に、設計時に重視した点や空間計画上の工夫、課題等についてお伺いし、実務における知見を整理することを目的としています。放課後児童クラブは、放課後等デイサービスと同様に児童の放課後の居場所としての機能を有しており、近年は発達に特性のある児童への対応や多様なニーズへの配慮が求められています。また、放課後等デイサービスに関する建築事例は限られていることから、放課後児童クラブの事例も含めて調査を行うことで、児童の放課後環境に関する施設計画上の知見を幅広く収集することを目的としています。

得られた成果は、今後の放課後等デイサービス事業所の施設計画において、建築士・事業者・関係機関が共有可能な計画指針の基礎資料として整理することを目指しています。

2. 調査概要

本調査の概要は以下の通りです。

研究テーマ： 放課後等デイサービスの施設計画

調査担当者：大阪公立大学大学院 生活科学研究科

小伊藤 亜希子（教授）

大谷 由紀子（客員教授）

米田 萌華（修士1年）

調査対象：新建築家技術者集団の皆様

3. 研究成果の公表、情報開示、研究成果の還元

本調査によりご提供いただいた情報は、本研究以外の目的には一切使用いたしません。また、回答内容は統計的に処理し、個人名・事業所名等が特定されないよう十分配慮した上で取り扱います。調査で得られたデータは、調査担当者が適切に管理し、研究終了後は適切な方法により処分いたします。

本研究の成果は、修士論文として取りまとめるほか、学会発表や論文投稿等を通じて公表する予定です。なお、公表にあたっては、個人や事業所が特定されることのないよう匿名化処理を行います。

4. アンケート回答方法

Microsoft Forms によるオンライン回答方式を採っています。調査の主旨をご理解頂き、ご協力頂ける場合は、以下の URL または QR コードよりアンケートフォームでご回答ください。 回答時間は 7-8 分（18 問）程度の予想です。



URL : <https://forms.office.com/r/HLFJgcLzpU>

回答期間：2026 年 7 月 15 日～8 月 2 日

※多少期限を過ぎても回答していただけますと幸いです。

何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本アンケートは、複数の団体を通じて配布しております。他の団体を通じて既にご回答いただいている場合は、重複してご回答いただく必要はありません。ご回答は、お一人につき 1 回のみでお願いいたします。

【連絡先】

本調査について何か質問等ございましたら、下記までお問い合わせください。

調査担当者：米田萌華 （大阪公立大学生活科学研究科 修士 1 年）

mail : sf22014p@st.omu.ac.jp

調査責任者：小伊藤亜希子 （大阪公立大学大学院生活科学研究科 教授）

mail : koito@omu.ac.jp

大谷由紀子 （大阪公立大学大学院生活科学研究科 客員教授）

mail : y-otani@omu.ac.jp

大阪公立大学生活科学部 大阪市住吉区杉本 3-3-138

小伊藤・土井研究室 電話・Fax：06-6605-2889（研究室直通）

* 不在のことも多いため、なるべくメールにてご連絡ください。